

「元住吉はどんどん好きになる街」。
私たちの商店街とプラウドが、
ここモトスミでコラボしました。



対
談

PROUD CITY
プラウドシティ元住吉

新しいマンションとともに、モトスミをさらに魅力的に——。
そんな高い理想と熱いモトスミ愛を抱くお二人に、
商店街の魅力や想い、みなさんへのメッセージを語ってもらいました。



モトスミ・ブレーメン通り商店街
振興組合理事長 伊藤博さん

現在の名前になる以前の時代から
組合に参加する街の顔役。でも、
商店街の「クリーニング・イトウ」の
ご主人でもあり、店頭ではやさしい
笑顔で出迎えてくれます。



野村不動産 住宅カンパニー
事業開発三部 推進課 東伸明さん

「商店街に寄っていたら遅くなって
しまい…。こう言いながら現れた東
さんは、すっかりモトスミの大ファン
に。建物の開発から、街とのコミュニ
ケーションまで考える方です。

東 ここモトスミは、暮らす人を一番に
考えた様々な活動を行っている「モトス
ミ・ブレーメン通り商店街」がとっても元
気な街。私たちがコラボすることにした
のは、「暮らす人の幸せのために」という
お互いに目指すゴールが一緒だったため
なのです。プラウドは、マンションを建て
て販売するだけではない、長いスパンで
住まいと街を考えているのです。

伊藤 プラウドさんのこの考えには、私
たち商店街も共感しました。

東 みなさんもぜひ、ここモトスミに足
を運んでみてください。イベントやお祭
りを通じて人と人のつながりを大切にし
て、「ブレーメンの音楽隊」の動物を使っ
たロゴをあちこちに描くなど、街の魅力
が強く印象に残ると思いますよ。そんな
商店街さんのお役に少しでもあたりたいと
考えて、北海道帯広にあった「グリユック
王国」の銅像を商店街に移設するお手伝
いをすることにしました。「ブレーメンの
音楽隊」や「豚飼い王子の像」をテーマに
ドイツで製作された見事な像を、駅前や

川崎市国際交流センターの芝生広場などに
設置する計画です。暮らす人々の思い出
の場所になってくれればうれしいですね。

伊藤 このように新しいマンションが建
ち、人々が移り住むことで、新しい「何か」
が生まれることでしょう。街が良くなっ
ていくためには、街も新陳代謝が大切。新
しい方々は大歓迎なのです。

東 どう魅力的に街が変わっていくか、
今から楽しみです。

伊藤 商店街の中心にあるコミュニテ
ィセンターを改装して、授乳室やバリアフ
リーのトイレを設置するなど、私たちが
できることを始めています。子育てをす
るご家族にも高齢者にもやさしい商店街
でもありたいと考えています。

東 元住吉は、人々のつながりや温かみ
があり、「帰ってきた」という安心感があ
りますね。これはまさに、私たちが大切に
してきた街の姿。そう、住むほどに「どん
どん好きになっていく」マンション、そし
て街がここにはあるのです。

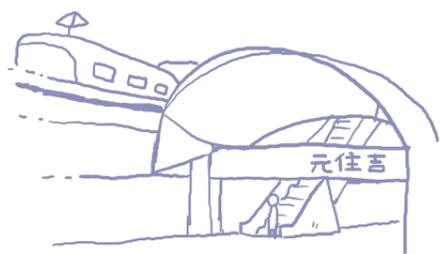
この街にずっと暮らしたい！
全てはそう思われるために。

まんなかに、たいせつなこと。



The GREEN HEART RESIDENCE

豊かな緑をともに抱き、五感で四季とふれあう暮らし方。
それは、私たちの感性に響く296邸のレジデンス。



街

- 6 ステキな「元住吉駅」
- 7 “プレーメン通り商店街”
- 8 ママたちの座談会 —Part 1—
 - 8 アクセス
 - 10 保育園
 - 11 子育て環境
 - 13 病院・防犯・安全
- 16 ママたちの座談会 —Part 2—
 - 16 この商店街を選んだ理由
 - 17 公共施設
 - 19 レストラン
 - 21 カフェ・パン・スイーツ
 - 24 食品店・その他お店
 - 25 学校・塾・習い事
- 26 イベント 春・夏・秋・冬
- 28 プレーメン通り商店街 MAP

INTRODUCTION & CONTENTS



I Love Motosumi

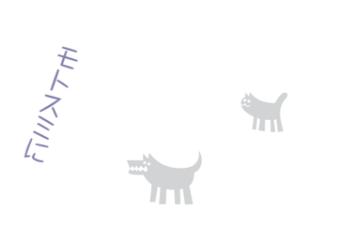
プレーメン通り商店街理事長 伊藤 博



地域の皆さんと商店街が一緒になって作り上げるフリーバープレス。お陰さまで来春発行3年目を迎えることになりました。皆さんの元気と商店街の活気がコラボして、最近では発刊すると、数日でなくなってしまう程の人気誌に成長しました。ひとえに皆様のおかげと感謝しております。さて発行3年目を迎える記念にもっと広い地域の方々にも元住吉の良さを知ってもらおうと、特別号「ピギナープレス」を発刊する事となりました。環境に優しい「元住吉」駅。駅をはさんで東西に約1200メートルの商店街。緑豊かなたくさん公園。充実した教育環境。盛んな国際交流。「モトスミってこんなに暮らしやすいんだ」という住んでいる方々の実感をモトスミ以外の方々にも知ってもらおうとの趣旨です。

この10月に我が商店街は人に優しい街づくりが完成しました。防犯カメラはもちろん、コミュニティセンターには多目的トイレや授乳室を設置しました。又、情報発信基地として、お得な商店街情報から地域の情報まで、様々な情報を発信するデジタルサインを設置。また、夜空を彩るイルミネーションからシャッターアートまで、お子様からごニアまで幅広い層の方々に快適なお買い物を楽しんで頂ける工夫を凝らしました。ぜひ、モトスミにいらっしやい!!

プレーメンの4匹の動物がいつでも皆さんを出迎えてくれます。





コミュニティーセンターのブレイメンの銅像は、今サンタの装いをしてるよー

と、とにかく人通りの多い商店街。ただし、午後は歩行者天国なので安心して買い物が楽しめる。通勤通学も安全だよ。



ブレイメン通り商店街入り口のアーチ

国際交流豊かな商店街
ブレイメン通り。この響きに、あなたはどんな印象を持つだろうか？グリム童話「ブレイメンの音楽隊」から、メルヘンチックなイメージをする人も少なくないだろう。実は命名は、「中世ヨーロッパ風の街づくり」という行政からの指南がきっかけとなっているそう。音楽の盛んな川崎の商店街としても絶妙な命名となった。街中に動物達のオブジェが存在するブレイメン通り商店街は今アツい！文字通り「ブレイメンの音楽隊」である商店街お抱えのバンドがあったり、商店街のキャラクターグッズがあったり…。これって全国的にも珍しいのだそう。また、ドイツのブレイメン市にあるロイド・パサー・ジュ商店街とは、20年の交流となる。エコ意識の高いドイツとの交流をきっかけに、早いうち



笑顔がとてもステキな新駅長の西川さん



3階のコンコースには青空のもと緑豊かな庭園が広がる。

モトスミの顔“ブレイメン通り商店街”

ドイツフェアに訪れたロイド・パサー・ジュ商店街会長ヨハンハウザー氏他



からエコバックや1店1エコ運動を導入するなど、エコ活動に力を注いできた。今年からはさらに人に優しい商店街としての活動を進める。「ブレイメンの音楽隊は、年を取って役に立たないと言われた動物たちが力を合わせて居場所をみつける物語でしょ。それにならって、これからはお年寄りも楽しい商店街にしていきたいと思っていますよ。そのためには、若い人の力も借りてね」と語った理事長の笑顔が、誇らしげでまぶしかった。物価が安く、生鮮品と惣菜が充実している、歩行者天国。毎日お祭りのように人通りの多い商店街に是非一度足を運んで欲しい。あちらこちらでブレイメンの音楽隊のキャラクターたちが出迎えているはず。



(写真左) 日本とドイツの交流150周年を記念して、ブレイメンバンドがドイツ・ブレイメンにて演奏。商店街のメンバーとローラント像の前にてパシャ。

(写真右) ブレイメン通り商店街と友好20周年のドイツ・ロイド・パサー・ジュ商店街。

エコシステムを採用している。3階の改札前のコンコースは庭園になっており、開放感の溢れる緑の中で、電車好きの親子や待ち合わせの人の憩いの場となっている。ベンチに座ってほんやりしてみるのもいいかもしれない。



ブレイメン商店街側の駅入り口。なが〜いエスカレーター！



広々としたホーム。

東京急行電鉄のステキな“元住吉駅”



アクセス抜群。環境に優しい駅。

元住吉駅は、渋谷と横浜のほぼ中間に位置し、東急東横線と東急目黒線が乗り入れている。お隣の武蔵小杉駅は特急が停車する接続駅である。何処に出るにもとても便利なこの駅のホームは、とても広くて開放的。一度この駅に降りた人の多くは、そのまま駅のファンになってしまう。12月1日付けで、渋谷駅から、元住吉・武蔵小杉・新丸子駅に赴任したてホヤホヤの西川 駅長に話をうかがってきた。

「とにかくアクセスが良いですね。都心へも横浜方面へも容易に出られる。東横線ほどの時間帯にもさまざまな年齢層の方が利用している印象。朝夕のラッシュ時は、上下ともにバランスよく人が移動しています」さらに、「今回の異動は故郷に帰って来た感じ。知人もたくさんいるし、自分にとっては、馴染み深い街なんですよ」聞けば、元住吉の事務所まで12年間程、勤務していた、ブレイメン通りはお馴染みの場所なのだそう。行きつけだったお店は「オリエンタル、富士見庵、西安餃子房、大和寿司、パビー、、、」次から次へと出てきた。2006年に完成した駅舎は、駅開設から数えて三代目。環境に優しい駅のモデルケースとして、太陽光発電や、雨水再利用システム、エスカレーター回転を利用した発電など、様々な



『二子玉川パーベキュー』

『等々力緑地』



釣り堀の向こうに等々力競技場
(川崎フロンターレのホームスタジアム)



日本庭園



あとの2人も、通勤に便利な場所と
いうことで元住吉を選んだそう。
「東横線か田園都市線かで最後まで
迷ったんですが、勤め先の銀座まで
1本で行けて(日比谷線直通列車の
場合)、商店街にも近いここがいいね、
ということになりました。最初は仮
住まいのつもりでしたが、あまりの住
み心地のよさに3回目の引っ越しを
ここでしたところですよ」とIさん。
Iさんも、2歳と5歳の女の子を持つ
働くママだ。
もう一人、やはり3歳の女の子を持つ
ママ、Sさんもアクセスのよさを実感。
「もともと自由が丘に住んでいて、東
横線が気に入っていたというのもあり
ますが、主人が横浜勤務、私が新宿
勤務なので、両方にアクセスしやす
い駅ということでここに決めました。
育児休暇中に商店街のよさがわかる
ようになって、ますますここが好きに
なつて、ついには家を購入するまでに
至りました(笑)」と、みなさん元住吉
を本当に気に入っている様子。
週末の過ごし方はそれぞれだ。自転
車派のIさんは、お天気のいい日は家
族4人、自転車で15分ほどの等々力
緑地まで足を延ばしたり、近くの平
和公園に行くことが多いそう。
「あとはこども文化センターへもよ
く行きます。体育館のような場所で、
ボールを貸してくれたり、卓球室が
あったり。雨の日に走りまわれない
ときも、ここは行く場所に困らない



モトスミを知ろう! ママたちの座談会 —Part 1— “アクセス・子育て環境編”

東横線沿線で住みたい街として人気の「元住吉」ってどんなところ?

Part 1では、保育園児を子育てしながら働く3人のママたちに、
モトスミのアクセス利便性、保育園事情、子育て環境についてお話を聞きました。

ライフスタイルは三人三様。でも、住み心地のよさを追求すると、
「街とつながる」「人とつながる」という共通点が見えてきます。



《東急東横線「元住吉」駅より》

- 「横浜」駅へ13分：東急東横線各停利用、「日吉」駅で急行に乗換
- 「自由が丘」駅へ9分：東急東横線各停利用
- 「渋谷」駅へ14分：東急東横線各停利用、「武蔵小杉」駅で特急に乗換
- 「二子玉川」駅へ13分：東急東横線各停利用、「自由が丘」駅で東急大井町線急行に乗換
- 「新宿」駅へ23分：東急東横線各停利用、「自由が丘」駅で急行に乗換、「渋谷」駅でJR山手線乗換
- 「大崎」駅へ18分：東急東横線各停利用、「田園調布」駅で東急目黒線急行に乗換、「目黒」駅でJR山手線乗換
- 「品川」駅へ12分：東急東横線各停利用、「武蔵小杉」駅で横須賀線に乗換
- 「銀座」駅へ29分：東急東横線各停利用、「自由が丘」駅で急行に乗換、「中目黒」駅で日比谷線乗換
- 「東京」駅へ18分：東急東横線各停利用、「武蔵小杉」駅で横須賀線に乗換

※所要時間は、日中平常時のもので乗換、待ち時間は含みません。また時間帯によって異なります。

から助かりますね」とのこと。
クルマ派のNさんが出かけるのは二
子玉川方面。「多摩川緑地に時々
パーベキューをしに。道が混んでい
なれば10分ほどで行けるので、本
当に便利です」。



Nさん：3歳の女の子を持つ働くママ



渋谷にも
横浜にも近い!!

東横線の渋谷と横浜のちょうど真ん
中あたりに位置する元住吉。どちら
に行くにも約20分という便利な場所
にありながら、日比谷線、目黒線、南
北線、都営三田線も乗り入れていて、
アクセスの不便は感じない。
「郊外に住んでるっていうイメージは
まったくありません。私の場合、勤
め先が大崎なんですけど、会社の送
別会などがあるときでも、武蔵小杉
から横須賀線で10分もかからないの
で、保育園に子どものお迎えに行つて
ご飯の準備をして、夫の帰りを待つて
バトンタッチしてから向かってても、
7時の送別会に間に合うんですよ
(笑)」と語るのは、3歳の女の子を
持つNさん。ご主人の社宅の関係で
元住吉に越してきたが、交通の便の
よさ、そしてにぎやかな商店街に魅
かれて、すっかりこの街が気に入つた
そう。



Iさん：2歳と5歳の女の子を持つ働くママ

また、「礼儀正しく育てよう」という方針があり、正しい言葉の遣い方にも気をつけているそうだ。両者の中間ともいえるのが「元住吉わんぱく園」。少人数制ということもあるが、先生たちがみな温かく、「家庭と保育園が二人三脚で育児をしている実感がある」という。ご主人が長期出張で不在のときも、ママに負担がかからないよう気遣ってくれるほどで、「家族のように接してくれるので、一人で問題を抱えることがない」とのこと。もちろん「概にどこがいい」といえる話ではないが、事前に「この保育園は、子どもたちをどのように育てているのか」、自分の足で見て回って確認することは重要。近いから便利というだけで安易に決めて、後から後悔しないようにというのが、ママたちの一致した意見だ。



ママ～街へ

街ぐるみで子どもを育てる

ところで、育児休暇中はどうしていましたか？という質問には、こんな答えが返ってきた。

「私は、公民館のサークルに入っていました。1週間に1回でしたが、0歳児とママたちが集まって、季節の飾りをつくったり、赤ちゃんが喜ぶおもちゃをつくったり。材料費だけで、地域の方がボランティアでいろいろ教えてくださるんですよ。そこで私はママ友ができました笑」(Nさん)。そのほかにも中原区内にはグループサロンやサークルが豊富で、そうした情報は子育て支援センターなどで気軽に入手できるという。また、前出の「こども文化センター」は区内に10ヶ所もあり、Iさんによると、「0歳児から利用できる未就学児のお部屋もあって、おもちゃとか絵本とか、紙芝居とかがたくさんおいてある」そうだ。

Sさんは、雑誌で見つけたママサークルに参加したという。「バランスボールのエクササイズで産後の骨盤を矯正するという記事をたまたま見つけて、HPを見たら元住吉でもサークルが開かれていたので、もちろんみなさん子連れでいらっしやるんですけど、交代で面倒を見



Sさん：3歳の女の子を持つ働くママ

また、Sさんは、「うちは子どもが電車好きなんですよ。元住吉は車両基地があるので、自転車で連れていくと大喜び。あとは、車でちょっと行けば新幹線が見られるので、珍しいドクターイエロー（線路の状態を検測しながら走行するパトロール新幹線）を見たいってせがまれます。見つけるとお友達に自慢できるみたい(笑)」と、みなさんファミリーライフを楽しんでいる。

さらには趣味も満喫。「たまにですけど、目黒まで行って、見逃した映画を駅前の映画館で見ることがあります」(Iさん)。「私も、会社のサークルで皇居の周りを走る会があって、主人が土日休みのときは預けて、たまに」(Sさん)。「私は個人の先生にピアノを習っています」と、自分を癒す時間も見つけて上手に息抜きしているみたい。それもアクセスのよさがあったること。どこに行くにも便利な街、それが元住吉だ。

プレイルーム



ブックルーム



「こども文化センター」こどもたちがいろいろな部屋で遊べます。スタッフさんの子どもたちへの温かい眼差しが印象的。写真は住吉こども文化センター。



ベビールーム



「電車の車庫」

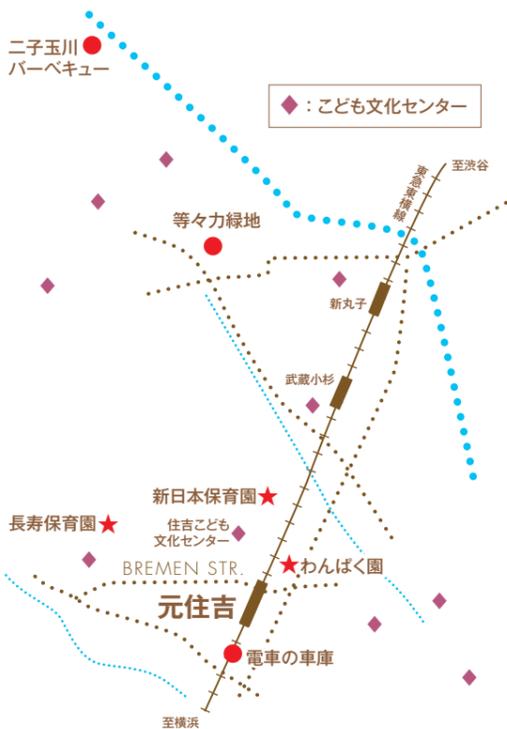


保育園

個性溢れる園の魅力

さて、次のお題は保育園。実際に入った保育園はどうやって選んだのか。その決め手を聞いてみると、それぞれ違う保育園のカラーの違いが浮かび上がってくる。たとえば、長寿保育園は、広めの園庭があり、冬でも半そで半スボンで「元気な心と体を育てよう」という子育て方針。また、園庭前の畑で農作業したり、少し遠くの公園までお散歩に行ったり。泥んこにもなるが、明るくのびのびとしたカリキュラムが特徴だ。一方、新日本保育園は、「とにかく行事が充実している」という。行事の手伝いなどで、土日も保護者が集まることはあるが、その分、親同士が仲良くなる機会も多く、いざというときに助け合えるネットワークもできる。

ながらエクササイズに集中できて、気分転換にもなるし、産後の体型を引き締めるのにも役立ちました。私もそこでママ友ができましたよ。」



ママ達のお気に入りスポット④



『もとすみパン焼倶楽部』

2010年6月にオープンした、お子様連れでも楽しめる手作りパン教室。毎週火・水・木に三人ずつと少人数制でありながら、口コミで評判が広まり今では直近の予約はとり難いほどの人気。主宰の栗原智子さんは一児の母であり、ご自身の過去の経験から、子育て中のお母さんの憩いの場・交流の場になるような空間作りを目指しているそう。教室はご自宅の一角で、プレイルームがあり、キッチンの戸棚にはお子様が危険な目にあわないようストッパーが付いていたりと、お母さん目線の配慮がいっぱい。

ママ達のお気に入りスポット①



『住吉書房』

「モノゴトの情報収集や本の購入だけならネットですむこの時代だからこそ、書店からこだわりの提案をしながら地元で親しまれる本屋さんでいたい」と語る宮下店長。店内随所に飾られているポップは、手作りで、書籍の魅力を伝えている。三階にある児童書コーナーは季節の行事にあわせてお勧め本や、夏なら、課題図書や図鑑、自由研究など夏の学習に適した児童書が充実している。また、毎月第3水曜日に、無料、予約不要の読み聞かせの会を開催しており、小さな子供とママ達にも大好評だ。



この街で
ずっと暮らしたい理由

それでも、小さい子どもを抱えていると不安なこともある。急に具合が悪くなったとき、また予防接種などを受けるときにも安心して行ける病院を確保しておくことはママたちにとって重要なポイントだ。

「実は、私は病院難民で、小児科で『ここ』というところがまだ見つからなくて。どこかいいところありますか?」と、Nさん。すると、すかさずIさん、Sさんの声が跳ね返ってきた。

「うちは、『わかば子供クリニック』。ちよつと遠いけど、土曜の午後や日曜日も診てくださるので助かっています。保護者には厳しくて、怖いというママもいるけど(笑)、お話がとてもわかりやすいのと、ホントはとってもお茶目な先生なので大丈夫。最近発見した『すずき耳鼻咽喉科クリニック』もよかったですよ。下の子が魚の骨を喉につまらせて、あわてて携帯で一番近いところって調べて行ったらすごくいい先生で。そこは、インフルエンザの予防接種も良心的な価格ですよ。しかも、細い針を使うから痛くない。上の子はドアにしがみついたりして、引き離すのが大変なほど注射がダメだったのに、全然痛くないって、ケロツとしてました」(Iさん)。

「うちが行ってる『田口小児科医院』も注射がとても上手で、予防接種も針をさされたのに気がつかなかったくらい。あれ? 注射は?」

中には、子連れで行けるパン教室やお料理教室、とてもステキな店舗もあるとか。同じように子育てにがんばっているママたちとも交流を深められるサロンやイベントなど、情報を知っていると、モトスミライフがもっと楽しくなりそう。

イベントといえば、元住吉は商店街をはじめとした地域のお祭りや催事が多いことでも有名。

「去年はハロウィーンのはしごをしました。何年も住んでいるとだいたいパターンみたいなものが読めてきて、カレンダーを見ながら、何月の何週目はこのイベントがあるなあと思うながら週末の予定を立てていると、けっこうそれで埋まっちゃうくらい(笑)。自転車で行動する人なら、かなりこなせると思います」(Iさん)。

「うちも、どこかでお祭りの音が聞こえてくると、子どもが反応して、行こう、行こうって。でも、街がにぎやかかって、なんだか安心しますよね」(Nさん)。

元住吉で子育てして実感することは、街ぐるみで子育て支援活動に熱心だということ。さらにアクセスのよさが、まだ小さい子どもを持つ働くママたちを後押しする。

「電車トラブルで東横線が動かなくなっても目黒線で帰れるとか、最悪、武蔵小杉からでも歩けるので、東急線が不通でもJRで帰って保育園のお迎えに間に合つとか。交通のアクシデントに強いというのはやっぱり助かります」(Sさん)。



『関東労災病院』

労働省(当時)が昭和29年、関東地区のセンター病院として設置した総合病院。救急科は年間5000台の救急車を受け入れる。地域に密着した活動をしており、プレーメン通り商店街で定期的健康相談を実施している。



ママ達のお気に入りスポット③



『ナベヤ』

思わず欲しくなってしまうような乙女心をくすぐる商品チョイスは奥様によるもの。とてもステキなナベヤ雑貨を取り揃えています。通路は広々とベビーカーが通れる広さなので、ゆっくりと商品のチョイスができます。

ママ達のお気に入りスポット②



『バシオス』

40年以上もの長きにわたり、元住吉住民から愛され続けているバシオス。生地の種類の多さは嬉しい限り。安さの秘密は、全店一括仕入れ。日用・学用品はもちろん、手芸用品も一通りそろそろ便利なお店です。



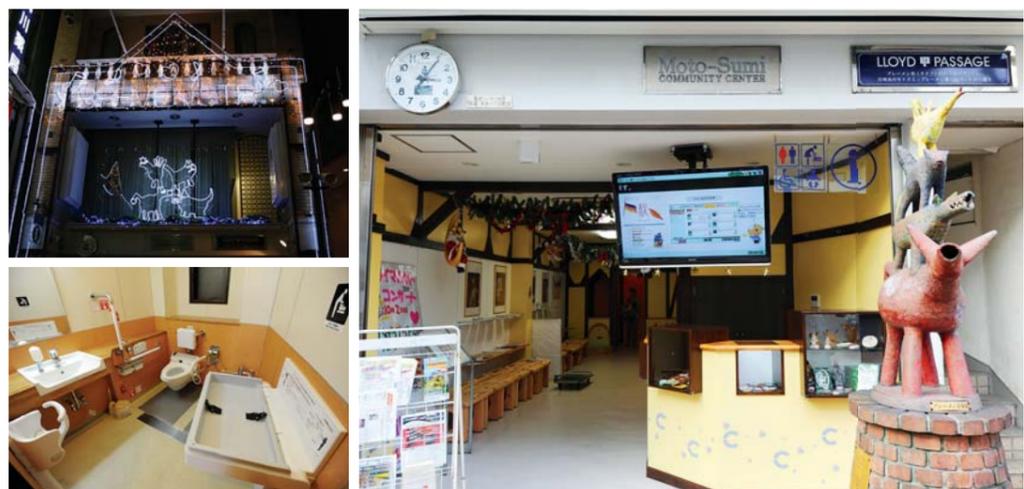


「もう終わったよ〜」っていう感じでした。ちよつとぶつきらぼうなどころもありますが、子どもにはやさしく、シールをくれたりするので、子どもも「やさしいお医者さん」って呼んでいます」(Sさん)。

「すぎクリニックもそう。引き出しからシールや折り紙、おはじきがいっぱい出てきて。それも子どもを引き付ける「コツかな?」(Iさん)。「医師の小児科離れ」を耳にすることも多いが、ここ元住吉にはママたちが頼りにする先生がまだまだたくさんいます。

さて、子育て世代にとって、もうひとつ気になるのは、街の安全性の問題。「最近、お揃いのベストを着て見回している人たちを見ましたよ」という声。おそらくブレメン通り商店街の青年部メンバーからなる「防犯ガーディアンズ」のことだろう。地域の自警団といえは「おじさん」のイメージなのに対して、30代、40代の若手を中心となって組織されているのがこの防犯ガーディアンズの特徴だ。まだ発足したばかりだが、夜のパトロールを中心に、昼間は警察官と歩きながら防犯ネットを配ったり、空き巣、ひったくり、痴漢防止のために見回りや声かけを行っているという。

また、各保育園でも独自の防犯ノウハウを持っているようだ。防犯は警察の手だけでどうにかなるものではない。「長寿保育園では、月に一度、不審者



新しくなった“コミュニティーセンター”

高齢化社会対応型の安心・安全・快適街づくり事業の一環として、コミュニティーセンターを大改造。商店街が、もっと安心・安全・快適になりました!!



(右写真) 高齢者や地域の方々の展示発表の場として、マルチに活用できる展示スペース。

(中写真) デジタルサイネージ!! クーポン券の印刷や3種類のゲームが出来る!!

(左写真) プレーメンの動物達が描かれたかわいいシャッターアート!!



『青柳』の和菓子
プレーメンポテト/住吉小梅
プレーメンのたまごやき/住吉

ぬいぐるみ

風呂敷

プレーメン通り商店街の“オリジナル商品”

他にもいっぱいあります!!

平塚知的障害者施設「進和学園」の皆さんが作ってくれた焼き物

携帯ストラップ
カレンダー
木製の置物
エコバッグ
『宇野商店』のお酒
元住吉/プレーメンワイン



防犯ダンスがあるよ〜



『防犯カメラ』

26台もの防犯カメラが新設され、買い物するお客さんの安全を守る。



『防犯ガーディアンズ』

ブレメン通り商店街の青年部で組織している。警察庁指定ボランティア団体。



が来たら先生のところに集まる訓練をやっている」「元住吉わんぱく園では、暗証番号を入れないとドアが開かないようになって」「新日本保育園では、先生方が全員防犯ベルを携帯している」など、時代の流れとはいえ、自分たちの手で子どもたちを守るうと、できることを精一杯やっている姿がそこにある。

そして、もうひとつ忘れてならないのが歩行者天国。商店街のメイン通りは12時から19時まで車での通行が規制される。子連れでのお買い物物が安心してできる事はとても嬉しい。

街中インタビュー①

★モトスミ在住約10年のTさんファミリー★

小さな子どもOK!のファミリーにやさしい街

モトスミブレメン通り商店街のすぐ近くに家族4人で暮らしています。

この街は、私たちのような子ども連れファミリーがとても多いですね。そのためあつてか、レストランでも小さな子どもによくしてくれます。おしゃれなカフェだって、小さな子どもOKですよ。

お買い物をする店でも少し馴染みになれば、気さくに声をかけてくれます。そんな下町っぽい気さくさがあるつつ、プレーメンに代表されるおしゃれ感が共存しているところが気に入っています。

さらに、私の勤務先は渋谷なのですが、もちろん通勤にはとても便利!





【木月公園】



じゃぶじゃぶ池

【中原平和公園】



【住吉西公園】



【井田公園】 野球ができる公園



公共施設

**子供たちの
ちっちゃな社会**

そんなママたちが出会う場所のひとつが公園だ。住宅街に公園は数多くあるが、「公園デビュー」の場所としてよく使われているのが、商店街からちよつと路地に入ったところにある木月公園。「0歳のときに、そこで出会ったよね」と、懐かしそうに話すSさんとUさん。

「ここはボランティアのみなさんが週に1回お掃除をしてくれるし、ご近所の方が毎日砂場にブルーシートをかけてくださるので、衛生面でも安心なんです」(Cさん)。

「今はもう撤去されてるかもしれないけれど、ちよつと前は、不要な三輪車や自転車が置かれていて、でも、これが意外と子供達にも大人気なんです。乗り方の練習もそつですが、順番に使ったり、ゆずり合ったりというところをここで覚えるんですね。」

Uさん：お子さんは小学1年生



Sさん：お子さんは小学1年生と幼稚園の年少さん

**やっぱり
商店街が好き！**

元住吉の魅力は、なんといってもも活気ある商店街。
小学1年生と幼稚園の年少さん、2人のお子さんを持つSさんの移住の決め手もそれだ。
「ずっと都内に住んでいたのですが、本当は川を越えたくなかったんですけど(笑)、主人の大きな声に惹かれて一度足を運んだら、あまりに元気な商店街でびっくり！人通りも多すぎてにぎやかだし、子育てするにもいいよねってすつかり夫婦で気に入りました。同じく小1のお子さんがあるUさんも、「子どもが生まれるまではあまり気にしていませんでしたが、子育てしながら商店街を利用すると、物価も安いし、お店もいっぱいあって、この

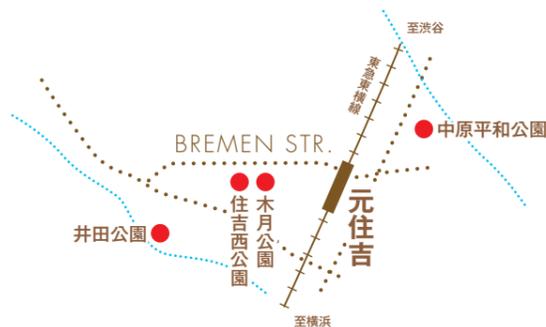


Uさん：お子さんは小学3年生を筆頭に4人

モトスミを知ろう！
ママたちの座談会 —Part 2—

“グルメ・買い物・地域情報編”

パート2は、知って、買って、食べて楽しむ「元住吉」をご紹介します。
街を知りつくした4人のママたちおすすめのレストラン、カフェ、スイーツから買い物術、塾、習い事まで、知って役立つ地域の情報を教えてもらいました。
通りを歩けば欲しいものがなんでも揃う商店街のさらなる穴場。子育てのしやすさはもちろん、大人も楽しめる街のスポットをご案内します。



街の暮らしやすさを実感しています」と、満足げ。中学生と小学生、2人のお子さんがあるMさんも、この商店街が大好きで、「夫の会社の関係で14年ほど前から住んでいます。元住吉から離れられませぬ」と口を揃える。

一方、小学3年生を筆頭に4人のお子さんを育てるママ、Cさんは、「平地」に惹かれてこの街を選んだそう。「結婚が決まって、家を買う前提であちこち探したんですが、生活圏に坂道があるのだけはどうしても避けたくて(笑)、東横線沿線で、横浜に行きやすく、平地に住みやすいところ、ということで元住吉に決めました」とのこと。

子どもと一緒にベビーカーで出かけるのも苦にならず、とても助かったのだそう。

Cさん：お子さんは小学3年生を筆頭に4人





『菜ごころ』 40種類の野菜がお客様を迎える。旬が3ヶ月間と短い愛知のフルーツ人参や井戸水で栽培されたフルーツトマト等、スーパーには並ばない希少価値が高い野菜を仕入れている。酒類も充実。自然派BIOワインや5種類の梅酒、オリジナルの日本酒等、多数揃っている。



『ファップリカ1090(トクマル)』

薪釜で焼くクラシックナポリピッツァとレバー式のマシンで入れる本格エスプレッソが楽しめる。一枚一枚丁寧に薪窯で焼きあげるピッツァは緑が香ばしくカリカリなのにもちもちの食感。感動の美味しさだ。その上、都内のお店より2割程度安く、コストパフォーマンスも抜群。



モトスミママ御用達の
リピート店

さて、話を商店街に戻そう。平日の昼ともなれば、ママたちのランチで商店街のレストランは大にぎわい。特に人気のレストランの前にはママたちの自転車や夕飯の買い出しに、自転車はなくてはならない必需品。見方を変えれば、元住吉をよく知らない人にとっては、自転車が多すぎる台数によって、人気店がわかるパロメーターにもなる。

最近、人気を集めているのは、ブレメン通りに面した「ピッツェリアファップリカ1090(トクマル)」だ。薪窯で焼き上げた本格ナポリピッツァにサラダ、飲み物がついて千円はお得。駅からほど近い「八百屋ダイニング菜ごころ」も人気店のひとつ。地元八百屋さん直営というだけあって、自然栽培&有機栽培の野菜を中心に新鮮な料理が並ぶ。ランチはプラス380円でサラダバー、スープ、プチデザートが楽しめるのもポイント。2軒とも予約してでも行きたいお店だ。

「モトスミにはインドカレーのお店が2軒あるんですが、両店とも子連れでも入りやすいお店としてママ仲間にも人気。とくに「ロードブッダ」少々子どもが騒いでもお店の人が寛大なんです(笑)。ラッシーもナンも



『ロードブッダ』

ランチ時は、ナン・ライスが食べ放題! 焼きたてのナンが美味しい。ドリンクバーを付けたら、ラッシーも飲み放題! ネパール出身のオーナーさんに取材したら、なんと日本語が通じなかった! そんな異国情緒あふれるお店。旅行気分で行ってみたいか?



『ジャイプール』

外観もお店の中も、料理の見た目も味もピカイチ、オシャレカフェ風のインド料理屋さん。本場インド人シェフが腕を振るう料理はリーズナブルで超本格的! 大人の方からお子様づれのファミリー層まで気楽に楽しめるレストラン。

おかわり自由なのはやっぱりうれしい(Cさん)。

「最近できた手ごねハンバーグのお店、「ぐーばーぐ」もすごくおいしくて聞きました。ふわふわで軽いハンバーグと付け野菜が多いのが特徴で、女性の好みに合ってるみたい。ランチもけっこう並んでますね(Sさん)と、比較的新しいお店に注目が集まっているようだ。



『ぐーばーぐ』

オーダー毎に手でこねる100%牛肉の自家製ハンバーグは、これまでに味わったことのないふわふわ感が特徴。はしをそっと入れるだけで簡単に切れて、閉じ込められていた肉汁があふれ出す! 写真は人気の「びり辛味噌の鬼おろしばーぐ」

幼稚園に上がる前のコミュニケーションの練習の場になってました(Sさん)。

士日はパパたちの姿もよく見かけますが、商店街がすぐそばだから、主人に子どもをみてもらっている間に買い物に行ける」のがその理由だとか。Uさんは中原平和公園に行くことが多いそう。「じゃぶじゃぶ池と呼ばれるせせらぎがあつて、夏はよくそこで水遊びをさせますね」。広い公園は、春にはお花見、秋は紅葉狩りやどんぐり拾いもできるので、家族で行くのが楽しみなのだそう。男の子を持つMさんのおすすめは、井田公園。「ボール遊びができない公園が多いなかで、ここは野球もできる数少ない公園のひとつ。週末は少年野球の試合場にもなっていますよ。桜のシーズンになると、父兄が集まって、試合中にせせとバーベキューの準備をしたりして(笑)。親たちもけっこう楽しんでます」。

施設としてママたちの人気を集めているのは、「川崎市国際交流センター」。コンサートもできるホールや図書室、会議室、料理室、ホテル、レストランなどを備え、広い芝生では幼稚園児の子どもたちが楽しそうに走り回る姿が見られる。

「年に1回、大きな国際交流のイベント(インターナショナルフェスティバル)が開かれるんですけど、世界各国



インターナショナル・フェスティバル!!

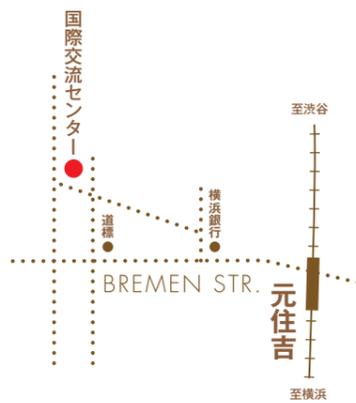


付属施設のお茶室



『国際交流センター』

国際交流を通じた様々なイベントや講座が開かれる。

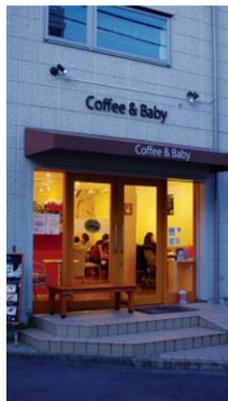


子どもたちが走り回る
みどり豊かな広場



の珍しい料理が食べられたり、民族舞踊や野外コンサートなどがあつたり、フリーマーケットで物産品が安く買えたりして、とにかくにぎわってますね。うちもそうなんですが、その日を楽しくにしている人は多いと思いますよ」と、Uさん。「私は、そこで中国の方から教わった餃子があんまりおいしくて、今でもよくつくってます。でも、普段からいるんな講座が開かれていて、ママや子どもたちの利用者がとても多いんです」とは、Mさん。Mさん自身は、「ジャザサイズ」というダンスフィットネスプログラムに参加しているが、地域住民の文化交流のため、安い料金で施設が開放されており、そのほかにも料理教室、語学教室などが各講師によって開かれているそう。

「子どもの書道教室とかもあるんですよ。うちは夏休みや春休みには短期の英会話講座に行ってます。3日間のコースで3千円くらいですが、ネイティブの先生と補助の先生がついて、本格的な英語に触れられるということで、抽選になるほど人気なんです」と(Cさん)。「付属施設には立派なお茶室もあつて、PTAの行事としてお茶会を開いたことがあります。お願いすれば、講師も紹介してくださるそうです」(Mさん)という情報も。元住吉に住むなら、ここを利用しない手はなさそうです。



【Coffee&Baby】 乳幼児を連れてママたちの息抜きのためのオアシス的なお店。お店をだしたきっかけは、「元住吉は子連れの人が多い印象だったことと、自分にも娘が生まれたこと」なのだそう。その娘さん、今やすっかり看板娘。はにかんだ笑顔で見送ってくれました。

【ふおれすと】 「もともとはコーヒー屋だったのが、いつの間にかいろいろ売るようになっていった」と話すご主人はとっても気さく。輸入食材やお菓子が並び、紅茶の量り売りがあり…。珍しいところでは生パスタ麺が売っています。試してみたい方はランチでどうぞ！



お持ち帰りスイーツも多種多様。「手土産系なら『亀屋万年堂』や『蜂の家』、『不二家』、『D・V・N（ディヴァン）』あたりが定番かな。商店街でディヴァンカラーの真っ赤な袋を持った人を見ると、ケーキ食べたいなあ〜と思ってしまいます（笑）」（Sさん）。



元住吉お散歩
幸せスポット

カフェの人気店としてまず名前が挙がったのは、「コーヒー&ベイビー」。名前の通り、バギーでもゆくり入れる今までにないお店だ。「ここはベビーカーでいつもいっぱい。でも、それだけじゃなく、コーヒーやスイーツ、フードもおいしいので、子どもがいなくても行く価値アリのお店だと思いますよ」（Uさん）。ママ同士でちよつとお茶をというときは、「ドールコーヒー」や「上島珈琲」が便利。駅からは少し離れるが、「ふおれすと」もママたちに人気だ。「コーヒー豆やコーヒー関連の雑貨、ケーキなんかを売っている奥にカフェスペースがあるので、ランチもやっているの、お昼を食べて、コーヒーでまったりしたいときはここに来ます。手づくりのクワッサンやマフィン、ワッフルもおいしいんです」（Cさん）。



【Mrs.Freeze（ミセス・フリーズ）】 ロサンゼルス発、人気の行列店が元住吉にやってきた!! アッサリと、でもコクのある深い味わいのアイスクリームが、卵不使用だと聞いて驚きました! 店主の素材へのこだわりが嬉しい。獣医さんと開発した犬用のアイスクリームも人気。お散歩ついでに寄ってみて。



【ディヴァン】 「元住吉の人は、横浜にも都心にもすぐに出ている人たちだから、味を知っている人が多い。だからこの土地を選びました」と話すご主人は、地域に根付いたお店を目指しているのだそう。ショーケースの中はキラキラとした芸術品のようなケーキが並んでいました。



【オリエンタル】 看板にもあるキャッチフレーズ「おさかなしなくてごめんなさい」に尽きる、さかな料理の名店! 地元の人に愛され、週末はいつも満席。さかな好きの方はぜひ一度、足を運んでみては?



【ゆうき亭】 国産牛・国産豚をふんだんに使用したステーキのいい匂いが立ち込める店内。創業23年、チャーミングな店主がおもてなし! 様々なメディアに取り上げられる、人気店!



【浪漫亭】 おしゃれな焼き鳥屋さん。若い方の来店が多いそうです。特にオススメは内臓系。レバー・ハツはすぐになくなってしまふのだそう。狙い目は平日! ぐの鶏のスープも美味しい。もちろん、すべて自家製。開店直前の店内では店員さんがせつせと仕込みをしていました。



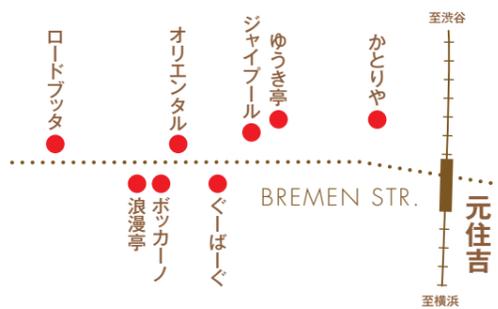
【オステリアポッカーノ】 地下に入ると、そこは隠れ家的本格イタリアン。評判のランチサラダは「小さいものでなくて、しっかりしたものを出したいと思って、こだわっています」と。夜の時間はカップルやご夫婦が多いそう。デートに最適!



【かとりや】 「仕込みはすべて店内で。出来合いのものを仕入れて焼くだけなんてことをしても、美味しいはずがないから」と。手間暇を惜しまないのに、こんなにリーズナブルでいいのでしょうか? サラリーマンから家族連れまで幅広い年齢層が集う名店。開店直後か予約が確定。使用する緑茶は絶品!



高級ヒマラヤ岩塩使用!!



家族で行くなら? という質問には、すぐに「ゆうき亭」の名前が挙がった。「ごはんがすすむハンバーグやステーキがおいしい鉄板焼きのお店。ここには珍しくお子様ランチがあつて、子どもも大好き。わが家では外せないお店です」（Uさん）。「さかなの台所 オリエンタル」は、いつもワイワイ、ガヤガヤ、楽しくてイキのいいお店。子どもが好きなメニューも多いし、パパはお刺身や魚介の七輪焼きとお酒でニンマリ。家族みんなが笑顔になります」（Mさん）。どちらも行列覚悟だが、人気があるのも納得。また、イタリアンの「オステリアポッカーノ」は、おいしいパスタとワインを味わいたいとき、おすすめだとか。たまにはママ同士で軽くお酒を……というときにも、ブレイメン商店街ならまずお店に困ることはない。「わたしみんなが、千年の宴」といったチエーン店もありますし、知る人ぞ知る地元の名店、焼き鳥の「かとりや」や、浪漫亭もおすすめですよ」（Mさん）。商店街から一本脇道に入れば、隠れた名店はまだまだたくさんある。ここで全て紹介しきれず、ザンネン。モトスミのおいしいお店探しは、とても楽しく奥が深いのだ。





【コンコルド】

売れ筋商品は、デニッシュ、さつまフランス、アンパンマン・トロのパン。店員鈴木さんによる、温かみのある店内の装飾&入口の季節のお知らせは元住吉店ならではの。読みに来て！座談会では、「ハード系のパンがおすすすめ！」という情報も。

【リトル・マーメイド】

座談会では「姑がくると必ず買うのがハイジの白パン。いっぺんに10個とか平気で買って帰る！」という情報が飛び出しました。お店の人によると「確かに人気ありますねー。同じ生地を使った塩バターパンも人気ですよ」と。とびっきりメロンパンも売れ筋商品。



ハイジの白パン!!

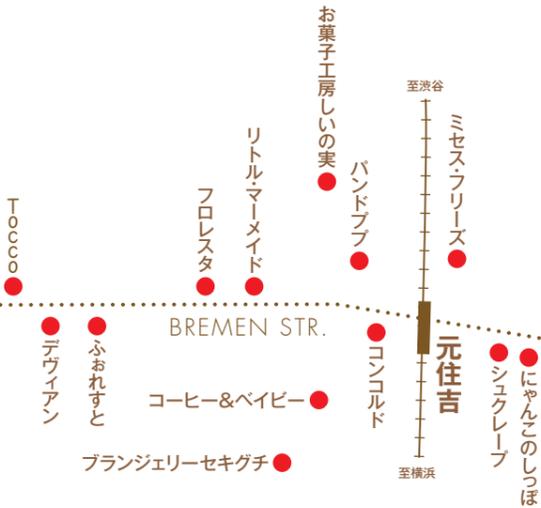
はるよこいの酵母パン!



【バンドプブ】

朝はご年配の方が、昼時は子連れの若いママ、夕方は主婦、祝祭日は男の方と、まんべんなくいろいろな年齢層の方たちに愛されているPUPUは、今年で7年目！座談会で登場の「はるよこいの酵母パン」は大人気！12月からは待望のプレカも始まって、ますます便利に。

子どものリクエストにもよりますが、シチューの日はパン屋さんをはしごしちゃう(笑) (Sさん)。「パンはちよと土産にもなっているんですよ。主人の母が「リトルマーメイド」のハイジの白パンが大好きで、実家に遊びに行くときは、いつもたくさん買って持っています」(Cさん)。「うちは「バンドプブ」のはるよこい(小麦を使ったもちもちのパンが好き。プブは種類も豊富で選びがいがあります) (Uさん)。「若い夫婦でやっている『ブランジェリーセグチ』もおすすめ。ドライフルーツとナッツの入ったブリュイェは、薄くスライスしてクリームチーズを塗るとさらにおいしい! (Cさん)とのこと。どれも自分の舌で味わってみていお店ばかりだ。



【Tocco】

卵を連想させる黄色の外観。それもそのはず「卵にこだわっていて、提携した養鶏所の卵を使用しています」という店主。半年に一度程度開催される初産み卵手にのせるイベントも楽しみ。キャラクターの絵のケーキも作成してくれる。イチオシはジェラート。



【ブランジェリーセグチ】

「砂糖などの副材料でごまかさず、生地そのものの味を引き出しています!」と、誠実にパンと向き合っている印象の職人気質なお店。珍しい食事パンが充実している。自作の天然酵母を使っているパンも。日替わりパンもあるので、行く度に新しい発見がありそう。

オズ通りの「シユクレープ」は、子どもたちにも人気。「もともとはブレメン商店街で車販売していたクレープ屋さんがある。ポリュームたっぷりの甘いクレープ以外にサラダやハム&チーズのおかず系クレープもあるの。手軽にランチを済ませたいときにおすすめです」(Uさん)。「その数軒先にある「にゃんこのしっぽ」の豆乳とおからの猫の尻尾型ドーナツは可愛くてヘルシー。ドーナツというたら、ブレメン通りの「フロresta」も有名ですね。無添加の自然な味わいで、日替わりの動物ドーナツは並んでも買いたくなる。ネコやカエルのほか、「ブレメンの音楽隊」にちなんだ動物たちも可愛いですよ」(Cさん)。「お菓子工房しいの実」(障害者施設)の型抜きクッキーも素朴なおいしさで私は好きですね。クリスマスシーズンにはツリー形のパツケージに入れてくれるので、子どものクリスマス会とき、たくさん並べておいて帰りにあげるとすごく喜んでくれます」(Mさん)と、お宝情報が尽きません。



【にゃんこのしっぽ】

豆乳とおからを使った焼きドーナツ。おからを使っているとは思えないほど、しっとりした味わい。「ぶち」やら「とら」やら「タマ」やら、本物の猫も驚くラインナップ。



【シユクレープ】

3年前まで横浜銀行の隣で車で売っていたクレープ屋さんが、ついにお店を構えたよ。一番人気はチョコバナナ。ボリューム満点の甘いクレープはもちろんのこと、サラダのクレープも美味しい。

【フロresta】

体にやさしくおいしいドーナツのお店。材料は国産と有機栽培によるものを中心に使用し、できたてを並べたいからと何回にも分けて作ります。生地配合からデコレーションまでスタッフの皆さんの手で本当にひとつひとつ丁寧に作られています。動物ドーナツは大人気!



【お菓子工房しいの実】

障害者施設のしいの実さん。みんなとても明るく、とても真剣にお菓子作りに取り組んでいる。ふわふわしっとりシフォンケーキは大人気。イベントではブレメンの動物クッキーが売られます!!

街中インタビュー②

昔懐かしいお店も新しいお店もあって、楽しそう!



★初めてモトスミに遊びに来たKさんファミリー★

私たちは東急東横線の沿線に暮らしているのですが、今日はランチを兼ねて、初めて遊びにきました。駅を出て、まずはこんなにも活気があることに驚きました。まだ昼時なのに、すごく賑わっていますね。そして、昔ながらの感じの漬物屋さんなどお店もいっぱいあって、元氣な商店街で楽しそうという印象です。今はご飯をどこで食べようかと探し中(いっばいあって迷い中?)。ところで、この商店街はどうしてブレメンという名前なのですか? あちこちに音楽隊の像や絵があつてカワイイ雰囲気。歩くだけでも楽しい街ですね。



親しみやすさ&
気軽さがいい!

ここ元住吉は家族の胃袋を満たす食の台所・食料品店の激戦区でもある。「スーパーはそれぞれセールの日が違うから、みんな使い分けしている」と思いますが。スーパー以外の個人商店が多く、しかもスーパーに全然負けていないのもモトスミの特徴かな」(Sさん)。「露店も多いけど、野菜や果物が安い!一回前を通り過ぎて、あ、やっぱり!と思ってまた引き返しちやいます(笑)。それに自転車にまたがったまま買えるのもうれしいですね。子どもを乗せていると、いちいち降ろすのが大変で、でも、向こうもそれをわかって、前かごに入れてくよよって言うってくれる。このみかんおいしいよっておまけしてくれたり、食べ方を教えてくれるのも対面販売のいいところ。そういうお店がけっこう多い気がします」(Cさん)。「お米屋さんで売っているおにぎりもママたちに評判いいですね。サイズが小さめで、子どもでも2個ぐらい食べられる。幼稚園に入る前、公園で遊んだ帰りによく買ってました。ほかにも唐揚げ屋さんとか、焼き鳥屋さんとか、すぐに食べられるものがたくさん売っているから、持ち寄りで誰かのお家に集まるときもすごく楽」(Uさん)。

のびのび育てー!
子どもたち



座談会の最後に、地域の小学校事情、塾・習い事についてお話を伺った。今日のママたちが住んでいるエリアは、住吉小学校と井田小学校に分かれている。両校とも地域活動に積極的で、特に住吉小学校は一日商業体験、ぶれっ子やブレイメンバンドの鑑賞等、ブレイメン通り商店街と関わりが深い。また、その他に力を入れている共通の項目のひとつには「給食」が挙げられるという。「センターからの配給ではなく、学校内で給食をつくっているのは珍しいかも。両校とも手づくりにこだわり、出汁も一からつくっているそうです。親も試食ができるんですが、栄養バランスはもちろん、味もすごくおいしかったですね。小学校に入ってから、うちの子は野菜嫌いがなくなりました」とCさん。もうひとつ、父兄のバトロールにも力を入れているとのこと。「〇〇小学校PTAバトロール中」と書かれた黄色のボードを自転車のかごにつけて、地域を見回る親たちがたくさんいます。ただ走っているだけのときもあるけど(笑)、何らかの防犯にはなると思っています」(Uさん)。



【住吉小学校】
学校教育目標
す 素直で明るくたくましい子
み みんなと仲良く助け合う子
よ よく考え最後まで頑張る子
し 信じ合い思いやりのある子



【井田小学校】
学校教育目標
○学びがいっぱい(自ら学び自ら考える子)
○やさしい(心豊かな子)
○元気いっぱい(たくましい子)



【ぶれっ子】
住吉小学校の皆さんがブレイメン商店街のお店で行なう一日商業体験。大変だけど、面白い!!



【焼き鳥 鳥庄】
常時20種類ある焼き鳥は、テレビや雑誌にも取り上げられる。その美味しさは感動必至だ。



【市川屋米店】
ショーケースに並んでいるのは「お米屋さんのおにぎり」。美味しくないわけがない!



【荏原屋みのり店】
露店だから、自転車にまたがったままでも買物が出来ちゃう! しかも市場のように安い!!



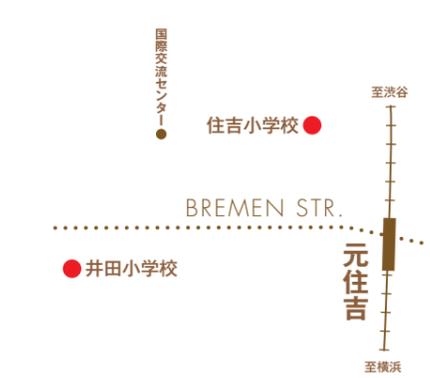
【サイクルスポット】
地域の人に喜んでもらえるお店になること。良心的な自転車屋が多いのはモトスミならではの。



【鈴木水産】
問屋の強みで、鮮度と価格には定評がある。漁港に来たみたいなお魚さん。



【キャンドウ】
ママにもパパにも子どもたちにも大人気。100円ショップ! 他にダイソーもあります。



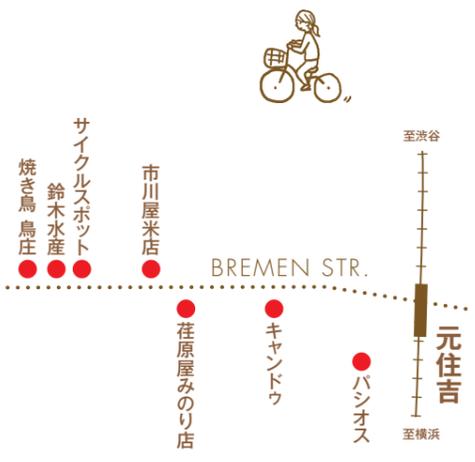
別の駅から通ってくる子どもも多いという。「電車が便利だし、ここがぎやかだから、子どもだけで通わせられるのかもしれないね」(Uさん)。

塾に関しては、公文、進研ゼミ、日能研などに通ったり通信教育を受けたりする子どもたちが多いようだ。中学の受験率もやや高め。

「だけど、のびのびさせられるうちは好きなことを楽しませてあげたい。幸いここは一年を通して家族で楽しめるイベントやお祭りもたくさんあるので、いい思い出もつくって、この街と同じように元気で明るい子に育ててほしいですね」(Mさん)。

街全体に活気があるのは、エネルギーを吹き込む人たちがいるから。ここに暮らす人たち全員が主役になれる街。だからみんな、モトスミが好きなのだ。

さあ、モトスミにいらっしやい!!



る友達がわざわざ買いに来たりします。それで、うれしくて二万円も使っちゃった! って。ない人にとってはそれほどありがたいものらしい(笑) (Cさん)。「私たちがとってありがたいのは、衣料系スーパーの『パシオス』かな。体育の授業で使う紅白帽とか上履きもあるし、手芸用品も売っているから、糸が足りない、生地がないと思ってもパシオスに行けば何とかなる。主婦には本場にありがたいお店です」(Uさん)。「自転車屋さんが多いのも助かりますね。そのお店で買っていないのにタイヤの空気もタダで入れさせてくれたり、ポロポロになった栓の代わりに新しいのをくれたり。親切にしてくらうと、次はここで買おうって思います」(Sさん)。困ったときでも、商店街ですべて間に合うのがこの街のすごいところだ。

春 Spring

「住吉さくら祭り」



中原平和公園にて行なわれるよ。「住吉さくら」は「かながわの花の名所100選」に選ばれる関東でも有名なんだ。渋川沿いに並ぶ250本に及ぶ桜は見事!! 祭は野外音楽堂で民謡などのステージが楽しめるよ。



商店街のイベント!!

激しく、楽しむ、

「ブレイメンバンド定期演奏会」



2002年、モトスミ・ブレイメン通り商店街青年部の有志3人で結成。その後、商店街で働く、何名かが加わり、さらに仲間が仲間を呼んで、3重奏→5重奏→8重奏→10重奏へと大所帯へ!! 商店街より正式に認められ、商店街所属の音楽団体になったよ。さらにサクソ仲間が加わり、ビッグバンド編成にも。現在、モトスミ・ブレイメン通り商店街を本拠地に、駅コンサート、吉野町市民プラザ、川崎市国際交流センター等で活動中! 今年はドイツブレイメンにて演奏を行なったよ~



夏 Summer

夏休みの商業体験「ぶれっ子」

小学生のちびっ子が商店街のお店(パン屋さん・八百屋さん・文具屋さん等)の一日店員になるよ。みんな一生懸命。大変だけどとても楽しい経験だよ~



「インターナショナルフェスティバル」



地球市民として様々な立場の方々がふれあい、世界を体感できるイベント。いろいろな形で国際交流に取り組んでいる団体が日ごろの活動の成果を発表するよ。

Autumn 秋

「フライマーケット」



ドイツ・ブレイメンで975年間も続いている市民イベントをモトスミ風にアレンジ。大きなお祭りだよ!



「モトスミ・ハロウィン」 この日は街が仮装したちびっ子だらけになる。今年は海賊団が登場。歌い踊ってハロウィンはヒートアップ!!



ちなみに海賊団は商店街の店主達。



「モトスミ・クリスマス」



12月23日の夜に配られるホットワイン。



法政二高のクリスマスコンサート!!

Winter 冬



季節を抱く。ともに生きる。

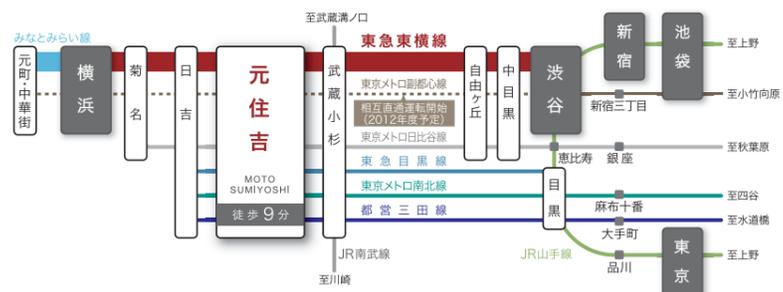
私たちの感性に響く、環境創造。これからを生きる、豊かなライフスタイルを「プラウドシティ元住吉」が提案します。

季節のうつろいを受取る美意識。自然の恵みを受取る知恵。人と、街とのつながりが育むぬくもり。私たちがずっと大切にしてきた感性が、これからを豊かに生きるための道標となります。ここに響くのは、樹の葉の音や鳥の声。朝日に映え、夕陽に輝く緑が心を癒してくれる。約11,000㎡超の広大な土地と出会い、四季めぐる庭を抱いた296邸の環境創造が始まります。



モトスミ・プレーメン通り商店街の先、成熟の住宅街で出会えた地。四方を街路に接した、約11,000㎡超のレジデンス街区。

中庭完成予想図※計画段階の図面を基に描いたもので、実際とは異なります。植栽は特定の季節・機種を想定したものではありません。また、竣工時には完成予想図程度には成長しておりません。



徒歩9分の東横線「元住吉」駅から5路線マルチアクセス。

「渋谷」駅へ14分 「東京」駅へ18分 「横浜」駅へ13分

「渋谷」駅へ東急東横線 各停利用、「武蔵小杉」で特急に乗換。/「東京」駅へ東急東横線 各停利用、「武蔵小杉」で横須賀線に乗換。/「横浜」駅へ東急東横線 各停利用、「日吉」で急行に乗換。※「元住吉」駅からは相互乗入れを含む5路線が利用可能です。※所要時間は、日中平常時のもので乗換・待ち時間は含みません。また、時間帯によって異なります。※徒歩分は80m=1分として算出し、端数は切り上げています。



お問い合わせは「プラウドシティ元住吉」インフォメーションサロン

Free Dial 0120-006-296

受付時間 10:00~18:00
 定休日 毎週火・水曜日(祝祭日を除く)

プラウドシティ元住吉 検索

■「プラウドシティ元住吉」予告物件概要 ●所在地/神奈川県川崎市中原区井田三舞町130番(地番) ●交通/東急東横線「元住吉」駅徒歩9分 ●総戸数/296戸 ●販売戸数/未定 ●構造・規模/鉄筋コンクリート造地上5階、地下1階(一部鉄骨造) ●敷地面積/11,657.86㎡(建築確認対象面積) ●用途地域/第一種中高層住居専用地域 ●間取り/2LDK+S~4LDK ●専有面積/67.12㎡~87.33㎡ ●バルコニー面積/6.10㎡~22.08㎡ ●建物竣工予定時期/2013年3月下旬 ●入居予定時期/2013年5月下旬 ●分譲後の権利形態/敷地は専有面積割合による所有権の共有 ●管理形態/区分所有者全員に管理組合を結成していただき、運営・管理業務は管理会社に委託予定(勤務形態未定) ●建築確認番号/第H23 A-JCI.a00990-01号 ●最多価格帯/未定 ●販売価格/未定 ●管理費等/未定(月額) ●売主・販売代理/野村不動産株式会社 国土交通大臣(11)1370号(更新手続中)(社)不動産協会会員(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル ●売主/菱重エステート株式会社 国土交通大臣(8)第3126号 東京都港区芝5-34-6 新田町ビル8階 ●施工/安藤建設株式会社 ●販売時期/2012年3月下旬(予定)※建物竣工時期、入居時期につきましては、電力供給の状況により延期となる場合があります。

予告 価格・販売戸数は未定です。全体で売れるか数期で分けて販売するか確定して 広告 ならず、販売戸数が未確定のため物件データは全販売対象住戸のものを表記しています。販売開始まで契約または予約の申し込みおよび申し込み順位の確保につながる行為は一切できません。販売開始予定 2012年3月下旬

【売主・販売代理】

野村不動産

【売主】三菱重工のグループ会社です。

菱重エステート

— PROUD —
CITY
プライドシティ元住吉

お問い合わせは

「プライドシティ元住吉」インフォメーションサロン

TEL 0120-006-296 受付時間 10:00～18:00

定休日 毎週火・水曜日(祝祭日を除く)

プライドシティ元住吉

検索

[売主・販売代理]

 野村不動産

[売主]  三菱重工のグループ会社です。

 三菱重工ステート